

屋久島山岳部における利用のあり方の検討状況と令和2年度スケジュール

1. 全体の検討状況と本年度の到達目標

本ビジョン作成に向けた検討は、平成28年度より開始され、5年計画でのとりまとめを予定しており、今年度が最終年度。

本ビジョンの骨子イメージのうち、前半3年間で「1. 作成目的」、「2. 背景」、「3. 対象区域」、「4. ビジョンと基本方針」、「5. 適正利用のためのあるべき利用体験ランク設定」、「6. あるべき利用体験ごとの（管理）目標・方針」について検討して決定した。

後半の2年となる令和元年度からは、「7. 施設の整備と維持管理」、「8. 利用者誘導と情報の提供」について検討を始めているところである。最終年度となる今年度は、これらに加え「9. モニタリング」及び「10. その他（管理体制・担い手確保等）」の検討も進めて取りまとめ、ビジョン完成を到達目標とする。

■屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部適正利用ビジョンの骨子■

	H28	H29	H30	R1	R2
1. 作成目的	→		済		
2. 背景 (1) 屋久島（山岳部）の特徴と価値 (2) 屋久島の歴史と社会の変遷 (3) 屋久島山岳部の保護と利用の状況 (4) 屋久島山岳部の保護と適正利用に関する取組経緯 (5) 屋久島山岳部の保護と適正利用の課題 (6) その他	→		済		
3. 対象区域			→ 済		
4. ビジョンと基本方針 (1) 一言フレーズ (2) ビジョン作成の前提となる認識と考え方 (3) 未来像・目標（50年後の目指す姿） (4) 基本方針	→		済		
5. 適正利用のためのあるべき利用体験ランクの設定 (1) あるべき利用体験ランク設定の考え方 (2) 利用体験ランク設定にあたっての前提となる条件 (3) あるべき利用体験ランク設定にあたっての留意点 (4) 各登山ルートのあるべき利用体験ランク			→ 済		
6. あるべき利用体験ランクごとの（管理）目標・方針			→ 済		
7. 施設の整備と維持管理 (1) 施設の整備・維持管理水準 (2) 施設の整備・維持管理の方針・方策				→	
8. 利用者誘導とサービスの提供 (1) 利用者誘導 ※例：利用コントロール、ルールなど (2) サービスの提供 ※例：情報提供方策など				→	
9. モニタリング ※モニタリング項目・基準					→
10. その他（管理体制・担い手確保等）					→

2. 令和2年度年間スケジュール

令和2年度は、検討会3回、シンポジウム1回を予定している。また、ビジョン策定を広く周知することを目的として、ビジョン概要の意見募集を予定している。

表1及び表2は、今年度完成を目標とした際の限界日程を仮に入れている。感染症対策の状況等により、前倒しもあり得る。

表1 検討会（3回）、シンポジウム（1回）の議題（案）

開催月(想定)	議題(案)
第1回検討会 R2.9月3日	(1)これまでの検討結果と本年度の検討内容について (2)「施設整備・維持管理シート（案）」 (3)「利用者誘導と情報の提供、（1）利用者誘導」ビジョンへの記載（案） (4)「利用者誘導と情報の提供、（2）情報の提供」ビジョンへの記載（案） (5)モニタリングの考え方 (6)管理体制、担い手確保の考え方 (7)シンポジウムのテーマ及び内容（案）
第2回検討会 R2.11月	(1)ビジョン「8. 利用者誘導と情報の提供、（1）利用者誘導」について、ビジョンへの記載内容 (2)ビジョン「9. モニタリング」の考え方について (3)ビジョンの「10. その他」について
意見募集 11～12月	「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部適正利用ビジョン（概要）」の意見募集（募集期間は1ヶ月以上） ※意見募集範囲は屋久島町内、関係行政機関、地域関係団体等を想定
第3回検討会 R3.1月	(1)ビジョンの「9. モニタリング」について (2)ビジョンの「10. その他」について (3)ビジョンの見直しについて (4)地域住民を対象としたシンポジウムの開催について
シンポジウム R3.2月	地域住民を対象としたシンポジウム開催 「山を畏れ 山に学び 山を楽しむ～山・里・海の魅力あふれる屋久島～」 屋久島の目指す姿の実現に向けたシンポジウム パネルディスカッション形式

表2 令和2年度の年間スケジュール

